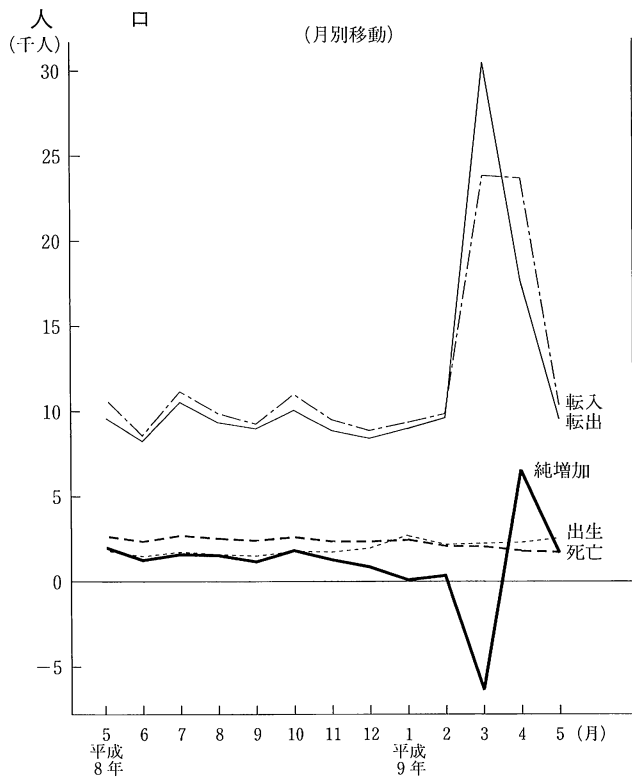
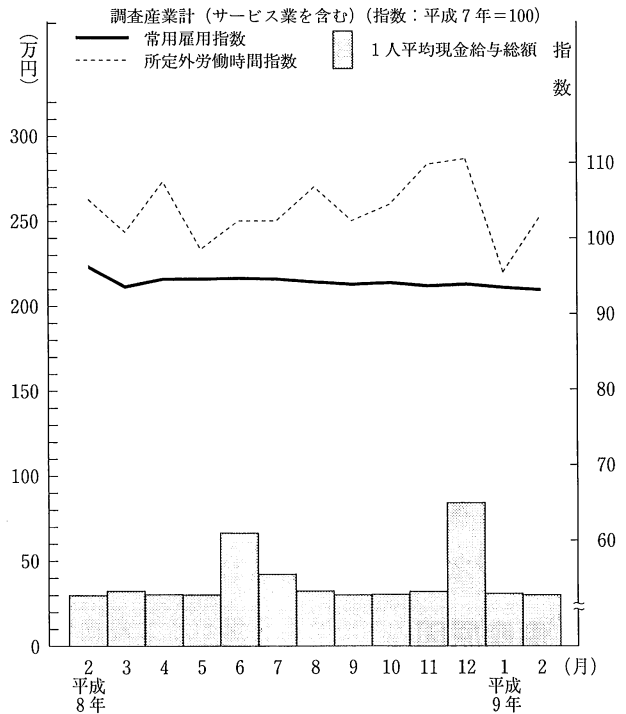


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



## 賃金・労働時間・雇用



### ■人口（9年6月1日）

本県の人口は、5月中に1,663人増加し、6月1日現在で、2,975,121人（男1,486,286人、女1,488,835人）となった。

内訳は、自然動態で、831人（出生2,546人、死亡1,715人）増加し、社会動態で、832人（転入10,366人、転出9,534人）増加した。前年同月と比べると11,858人（0.4%）の増加である。

市町村別では、増加が16市34町村、減少が4市28町村、増減なしが3村である。

世帯数についても5月中に1,836世帯増加し、951,279世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用（9年2月）

#### 1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で302,221円、対前年同月比0.3%増、このうち、きまって支給する給与は300,721円、対前年同月比0.2%増であった。また、このうち、所定内給与は273,635円、対前年同月比0.5%増であり、超過労働給与は27,086円、対前年同月比3.5%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.5%減であった。

#### 2. 労働時間

2月の総実労働時間は、調査産業計で159.3時間、対前年同月比2.4%減であった。このうち、所定内外労働時間は145.6時間、対前年同月比2.3%減、所定外労働時間は、13.7時間、対前年同月比2.2%減であった。

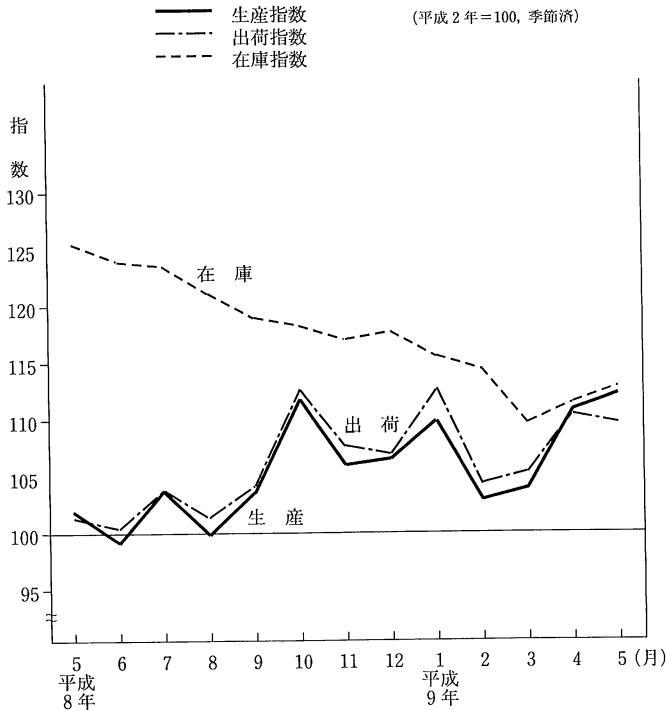
#### 3. 雇用の働き

2月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比3.2%であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）

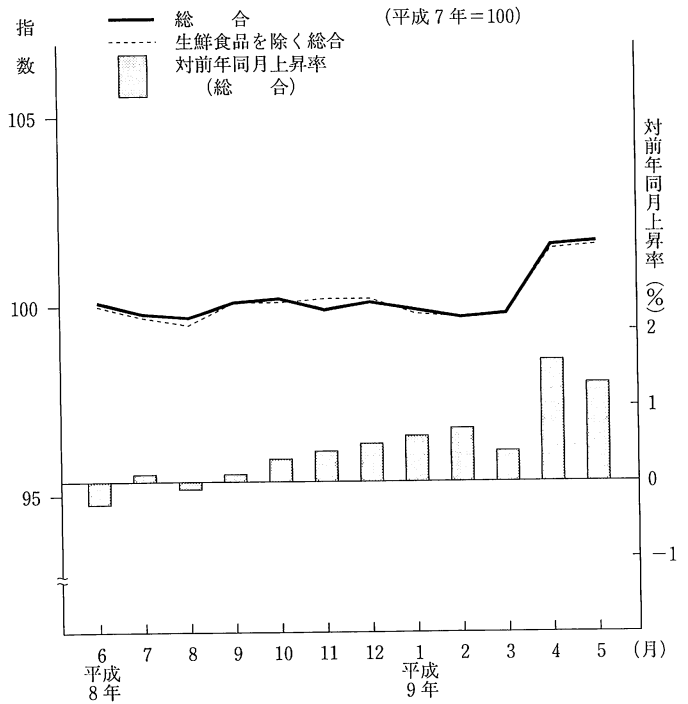


■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年5月）

本県における平成9年5月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が112.2、出荷が109.6、在庫が112.8で、前月比は、生産が3.9%の上昇、出荷が6.3%の上昇、在庫が1.0%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が10.1%の上昇、出荷が7.5%の上昇、在庫が9.2%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業、電気機械工業、一般機械工業等が上昇し、精密機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業、鉄鋼業等が低下した。出荷では、輸送機械工業、電気機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、精密機械工業、鉱業、プラスチック製品工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、鉱業、一般機械工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業、電気機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、その他用生産財、資本財等すべての財で上昇した。出荷では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。在庫では、資本材、非耐久消費財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

消費者物価指数



■ 消費者物価指数（9年5月）

平成9年5月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.7(平均7年=100)となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比1.3%の上昇となった。

今月の上がった主な項目…果物7.6%、衣料2.3%、飲料1.8%

今月の下がった主な項目…家庭用耐久財1.5%、乳卵類0.8%、菓子類0.8%、自動車等関係費0.8%

生鮮食品を除く総合は101.6となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比1.4%の上昇であった。

■ 費用別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.7	0.1	1.3	保健医療	102.3	△0.1	0.6
食料	102.4	0.2	1.8	交通通信	99.4	△0.4	0.2
住居	102.0	△0.2	0.3	教育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	103.4	0.7	4.9	教養娯楽	98.6	0.2	0.2
家具・家事用品	96.5	△0.8	△1.7	諸雑費	100.7	△0.1	0.3
被服及び履物	106.7	1.3	5.0	生鮮食品を除く総合	101.6	0.1	1.4